

令和元年度「村長と話そう むらづくり懇談会」会議録（概要）

- 開催日時：令和2年1月26日（日） 午後6時～午後8時
- 開催場所：語部の館
- 参加者：28人

【平成30年度決算説明後の意見交換】

（意見等）

ふるさと伝承館については、早く壊して複合施設を作ったらどうか。以前は、跡地に同じ機能の建物を建てると聞いていた。議会質問や新聞で拝見している情報では、これから再度検討が行なわれるという理解でよろしいか。

（村長）

公共建築物のあり方検討委員会で廃止について提言いただいたので、新年度には収蔵・展示物の片づけを進め、早めに取り壊したい。伝承館の収蔵物は、教員住宅に移動し、収まりきれないものについては、プレハブ収蔵庫を建設し、移す予定。

庁内関係職員でも検討委員会で検討していく。この中で議論が深まってくると、改めて委員会を作るのか考える必要がある。複合施設化も含めて検討していく。

（意見）

伝承館についての議論は、10年以上続いている。色々議論はあると思うが、自立の村として、村の歴史を伝える施設は必要だと思う。

（村長）

村のルーツや歴史を伝えるものが必要という思いは十分認識している。

広域で1つの施設を運営していくという方法もあるかもしれない。将来を見据え、真剣に考えていく必要がある。

（意見）

台風19号の際、初めて避難所を設置した。災害時には、携帯電話が不通になることも懸念されるので、確実に村や消防との連絡ができる機材が必要だと思う。避難所のキャパ、備品等の備蓄なども不安である。

（村長）

情報の伝達手段については、Wi-fiを活用することも一つの手段。有線での屋内放送に代わるものを検討していく。

災害時には、県などにも相談のうえ適切な対応をしていきたい。山形村の河

川の規模が比較的小さいため、水害よりは土石流に対する警戒が必要になってくる。

ハザードマップの更新を行ないますが、土石流とため池の対応について整備していきます。

(意見)

中大池の避難所として指定されているのは語部の館であるが、その他に第一公民館、第二公民館と全部で3つの施設がある。建設から50年近くたっているものもあり、強度に不安がある。村のコミュニティ振興事業で補助があるが、実際リフォームをする場合にはそれ以上のお金がかかる。避難所として位置付け、特別な財政措置はあるか？

(村長)

国の補助金にも様々なメニューがある。具体的な話が出てきたところで、合うメニューを探すので相談してほしい。

(意見)

戸数が少ない中、役の数が多く、高齢化により役ができない方もいるため、常会の役回りが非常に速いと感じる。上手東と上手西を合併したらどうかと議論を行ない、役場にも相談したいと考えている。

子どもが小さいうちは連絡班に加入するが、子どもが大きくなったら脱退する、役が多いから山形村から転出するなどという話も聞いたことがある。

コミュニティのこうした現状を村はどう考え、今後どのように展開していくのか？

(村長)

連絡班の加入率の問題で、課題が大きいのは竹田地区であると聞いている。「役が多い」「負担金が高い」「人間関係が煩わしい」という理由がよく話題になる。

小坂の堂村上・下が昨年合併し、上大池の豆沢では合併せずに、役を一緒にするという話が出た。豆沢の件は、反対意見もあり止まっている。

(意見)

連絡班の加入について、ある程度村で強制力を持たせることはできないか？

(村長)

時代とともに権利や義務といった考え方が複雑になってきている。とある市では、加入金を払うか払わないかで大きな裁判になり、自治会側が負けた。そういう判例からも強制力を求めにくくなっている。

条例を作った市町村でも、推進しているものの実際には強制力がなく、努力義務の状態のようだ。

(意見)

人口が減少しているというが、どういう理由で減少しているのか検証をしているか？

(村長)

村の中でも、上大池と下竹田が人口が減少している。村は、山際で過疎が進み、松本市寄りの地域は人口が増加している。

山際を住みやすくしなければ人口増は難しいと考えている。獣のイメージを払しょくし、荒れている山際を整備して住みやすい環境を作るためには、団体のようなところに受け皿になっていただきたい。

「住みやすさ」に重きを置いて、子育て支援の充実や生活環境を良くしていくことが大切だと思う。生活環境という意味では、風食防止も絡んでおり、イメージアップのための重要な課題である。

空き家と移住促進については、相談窓口でいかに丁寧で的を得た対応を行なうかが重要と考える。

人口動態のデータをしっかり取り、何をすべきか考えていかなければいけない。村民の皆さんのアイデア等も教えていただきたい。

(意見)

上大池、小坂にはコミュニティバスの停留所がないため、作っていただきたい。

(村長)

コミュニティバスについては、現在松本市との協議会の中で協議しているが、今後は朝日村も含めた 3 市村で広域的に進めていくようになるため、少しずつ変わっていくと思う。

また、地域の皆さんが組合のようなものを作り、互助的に車を周遊させている地区もある。地元の方で互助組織を運営していただくというのも解決方法の一つであり、村としても情報を開示し、協力していかなければならない。

(意見)

中学生の自転車の乗り方やマナーが悪いように思う。教育委員会からも指導していただきたい。

(教育長)

学校には、子どもたちの交通安全確保のために生徒指導を徹底するよう伝える。今後も子どもたちを見守っていただきたい。

(意見)

消防団員の新規募集に苦慮している。団員に対するメリットがあれば、勧誘しやすくなるので、検討いただきたい。

(村長)

他の自治体でも団員確保には困っている。分団長の皆さんにも大変ご苦勞いただいている。良い方法があれば、ご提案いただきたい。

(意見)

山形村は、住民サービスが充実していると思う。今後、人口減少や交付税の減額など課題は多いかと思うが、是非住民サービスを維持し、今後も要望を聞いてほしい。

(村長)

小さな村であるため、村民の意見は反映されやすいメリットがある。村を存続させるためには、村民と村が協働で村づくりをしていくことが大切である。皆さんに文句を言っていただきながら、協力もしていただくのが一番。引き続きご協力をお願いしたい。

(意見)

ごみ集積場の管理は地域で行なっている。地域にある程度責任を持たせながら、連絡班の加入非加入に関係なく、当番で関わるべきものという概念でルール作りをお願いしたい。

住民登録した段階で、ごみの問題、環境整備、防災訓練は、加入非加入関係なく義務であるというくらいの指導をするべきではないか。